食と農と地域を結ぶ

あぐりーん

JA北魚沼

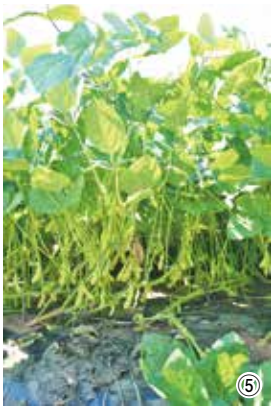
10

2019　VOL. 248

JA北魚沼最新情報公開中！ いいね！ 待ってます！

おいしさを感じてくれるから

①


⑤

④

③

②

⑦

⑥

瀬下　仙一さん(81)・美知子さん(74)…長松地区にある60㌃の畑で、さつまいも（４種類）、枝豆（４種類）、大根（３種類）、大崎菜、かぼちゃ、じゃがいも、白菜、わらび、いちじく、キウイフルーツ、栗などを栽培している。

※　農地や水環境の改善に威力を発揮する光合成細菌や、発酵型の乳酸菌、酵母など、自然界にいる人にも環境にも優しい善玉菌の集合体。

⑬

⑨

⑧

⑫

⑪

⑩

瀬下仙一さんと美知子さんご夫婦は、野菜や果樹を栽培し、Aコープや農産物直売所うおぬま百菜花んに出荷しています。瀬下さんの作る野菜はどれも美味しく、特にサツマイモは長期間傷みにくいと評判です。そこで瀬下さんご夫婦に、サツマイモの秘密について伺いました。

「特別なことは何もしていないんですよ。5年間同じ場所で作ってますし、保存はコンテナに入れてうちの玄関に置いているくらいで。それでも秋に収穫して、次の年の5月くらいまでもちますね。そのくらいになると芽が出てきてしまいますが」。美知子さんはふんわりした口調で話します。「それに、サツマイモ以外の野菜はもっと早くに傷みますよ。うちの畑の土とか肥料がサツマイモと合っているのかもしれません。肥料は自家製でこだわっていますからね」。

瀬下さんは、米ぬか、油粕、魚粕をEM菌(※)で発酵させた自家製肥料を使っています。この材料の他に、菌の活動を活発にするための糖蜜を加えて1か月以上発酵させ、半年以内を目途に使い切ります。春に耕うんする前に、10アール当たり200キロを使用するため、年間に約2トンもの量を作るそうです。「色んな作物の元肥や追肥に使用しています。10年くらい前は養豚を営んでいたので、この肥料ではなく堆肥とヨウリンを使っていました。でも養豚を辞めて、色々な発酵肥料を作っては試し作っては試しを繰り返し、今の肥料に落ち着きました。思い返せば、この肥料になった頃からサツマイモが傷みにくくなってきたと思います」。美知子さんが静かに話すと、仙一さんが口を開きました。「土も大事ですよ。サツマイモは畑の養分を全部吸い取るので、他の野菜が植わっていた後に植えると、前の作物が吸いきれなかった肥料の養分まで吸ってしまい、栄養過多で美味しいサツマイモにはならないと思います。大豆とかの部類はいいですが、葉物類を作った後にサツマイモを植えると、全然美味しくないんですよ。サツマイモは同じ場所に作ると都合がいいんです」。堰を切ったように話す仙一さんを、美知子さんは嬉しそうな表情で見ています。「お父さんは農業の話が大好きでね。この人は昔から本当に、農業というか根気がいることが好きなんです。自家製肥料作りにしても、1回に15キロしかできない小型の専用ミキサーで約2トンの肥料を作るので、とっても手間なんです。塩梅も自分で長いことやってきたからこそわかるもので、お父さんにしか作れません。栽培している栗の木だって、苗木を植えてから3～4年経って、やっといっぱい採れるようになったと思ったら大雪で枝がダメになってしまうということもありました。それでもまた買ってきて植えての繰り返し。それで結局50本にまで増えて。冬囲いだって大変なのに、本当にいつも根気勝負なんですよ」と話す美知子さんに、仙一さんが続きます。「良いものを作りたいという気持ちが大きいですね。消費者というか、おいしさを感じてくれる人がいるから真剣に農業をしてます。自然の力で美味しくて良いものを作るという努力は惜しみません。」と目を細めて話します。

瀬下さんの畑は、権現堂の手前にあります。この畑で9月28日、JAと食まちうおぬまとの共同企画「あぐり～んキッズくらぶ」のサツマイモ収穫体験が行われました。瀬下さんは、賑やかにサツマイモを掘る子どもたちを、温かい表情で見守っていました。

① 素敵な笑顔でほほ笑む瀬下仙一さんと美知子さんご夫婦。
② 今年は、たくさんの栗が採れました。
③ 瀬下さんが栽培している大根。左から、ビタミン大根、紅しぐれ、紅くるり。
④ 秋野菜の種を撒く仙一さん。暗くなるまで作業は続きます。
⑤ 9月下旬に出荷する枝豆。「肴豆」という品種だそうです。
⑥ 秋野菜の白菜や大根がたくさん植えられています。
⑦ 110本のイチジクを栽培。出荷は9月～10月末。
⑧ 栽培しているサツマイモは3種類。見事に葉が生い茂っています。
⑨ キウイフルーツは毎年約500㌔採れるそうです。
⑩ 地面からは、おいしそうなサツマイモが顔を出します。
⑪ あぐり～んキッズくらぶの様子。みんな芋ほりに夢中です。
⑫ 瀬下さんの畑から見える美しい景色。
⑬ 冬になると、秋に採っておいたキウイフルーツを順々に追熟し、出荷します。

「JAの自己改革に関する組合員調査」
中間集計結果のご案内

回答者数 約319万人

自己改革への評価

- 期待度：約7～8割が「期待している」
- 満足度：約6割が「満足」
- 改善度：約8割が「改善した」・「もともと良い」

総合事業の継続 約9割が「総合事業を継続するべき」

准組合員の事業の利用の制限 約9割が「制限しない方がよい」

林先生コメント

- 今回の中間調査結果では、全国で3,193,640人という、非常に多くの組合員からの声が寄せられました。おそらく、民間実施の調査では最大規模の調査ではないでしょうか。
- JAの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約8割。また、約9割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声もいただいています。
- JAは協同組合。これからも、組合員との対話を大事に、組合員の声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用してもらうことで、農業と地域を支えていってほしいですね。

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、現在、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しています。

本年5月末までに、全国で3,193,640人の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、まことにありがとうございました。

このたび、皆さまからいただいた調査結果を、中間集計結果としてご報告させていただきます。

なお、最終調査結果については、令和2年5月頃を目途にとりまとめる予定です。

- **調査期間**
  平成30年12月～
  令和元年12月
- **調査対象者**
  全国の正・准組合員
- **中間集計の実施時期**
  令和元年5月末

組合員の皆さまと可能な限り直接お会いして調査にご協力いただきました。

組合員宅で組合員調査を説明する職員（JA西びわこ）

集落座談会や研修会等の場で説明、回答を依頼（JAさが）

JAグループ 耕そう、大地と地域のみらい。

01 自己改革への評価

（単位：%）

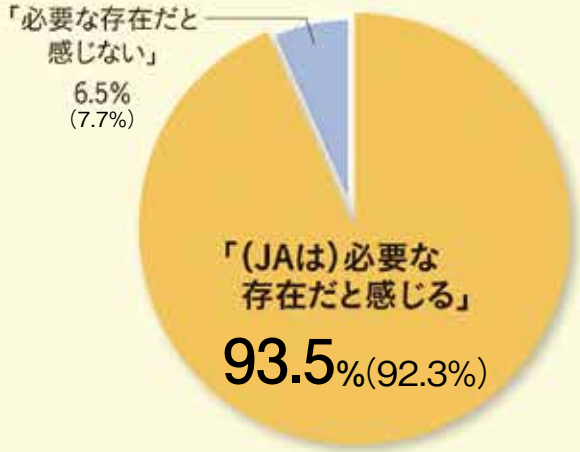
	期待度	満足度	改善度
	「期待している」	「満足」	「改善した」・「もともと良い」
営農指導事業	80.6（78.4）	66.5（61.1）	83.6（77.1）
農畜産物販売事業	76.5（72.1）	61.1（49.6）	84.2（72.0）
生産資材購買事業	72.4（66.5）	60.3（51.8）	84.0（73.7）

（※）期待度は「期待している」「やや期待している」、満足度は「満足」「やや満足」、改善度は「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」を集計しています。

●自己改革の取り組みについての評価は、営農指導事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業ともに、高い評価をいただいています。

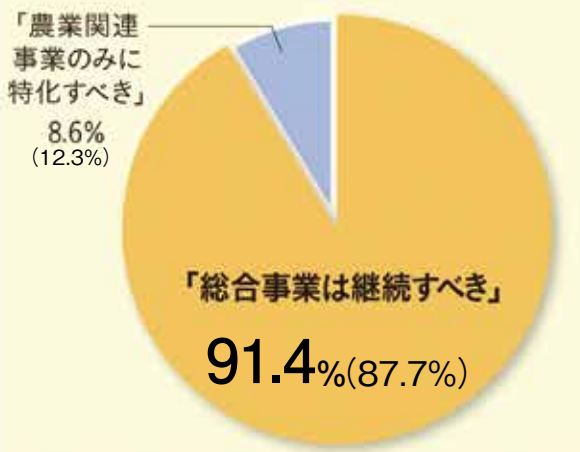
●表のコメント、太数字は全国平均を、（ ）内はＪＡ北魚沼の数値を示しています。（以下、同様です。）
また、ＪＡ北魚沼の調査・集計は終了しており、最終報告となります。

02 JAの必要性



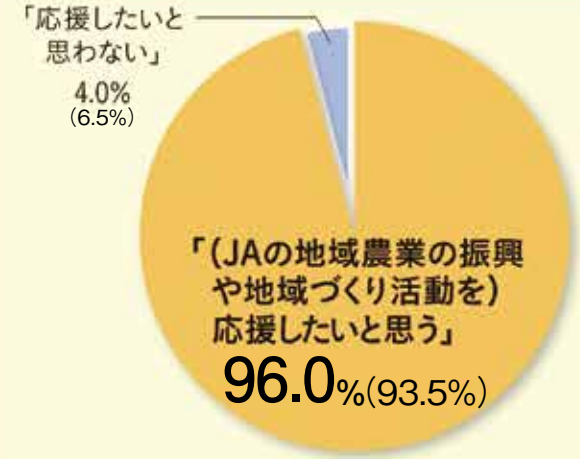
●正・准組合員の93.5%が、「（JAは）必要な存在だと感じる」と回答しています。

03 総合事業の継続



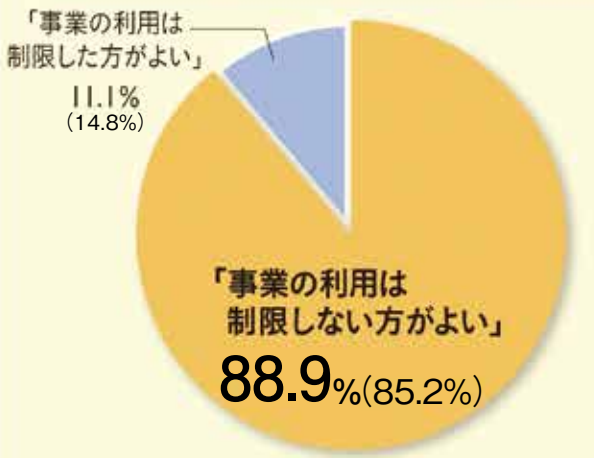
●正・准組合員の91.4%が、「総合事業は継続すべき」と回答しています。

04 農業や地域づくりの応援



●准組合員の96.0%が、「（JAの地域農業の振興や地域づくり活動を）応援したいと思う」と回答しています。

05 准組合員の事業の利用の制限



●正・准組合員の88.9%が、「事業の利用は制限しない方がよい」と回答しています。

園芸品目ほ場見学研修会

魚沼地域農業振興協議会園芸振興部会は、8月29日(木)、管内の園芸品目ほ場見学研修会を開催しました。管内農家や関係機関を含む51名が参加し、カリフラワー、さといも、深雪なす、促成山菜などの7品目、8ほ場を巡回しました。巡回した中には、ＪＡ北魚沼が貸し出しを行っている溝堀機や埋設機、里芋定植機を使用したほ場もあり、貸出機械利用のメリット等の説明も行われました。

里芋ほ場見学

自動車成約キャンペーン

8月23日（金）、6月に開催した、合同展示会サマーフェスタ2019の特別企画、自動車成約キャンペーンの当選者と「川越散策と入間アウトレットの旅」へ行ってきました。午前中はあいにくの天気でしたが、午後からは晴天にめぐまれ、参加者は川越プリンスホテルでの昼食やアウトレットでのお買物を楽しんでいました。

川越散策

ユリ切り花産地見学の様子

ユリ切り花産地見学会

8月31日（土）、魚沼地域農業振興協議会は魚沼花き園芸組合と協力し、県内外の新規就農希望者を魚沼市に招き、花き産地の見学会を行いました。参加者からはユリの出荷基準や栽培に関する質問が多く上がったほか、「魚沼市が大きなユリの産地ということを今まで知らなかった。学生の時にユリのことについて勉強していたので、興味を持った」いう声をいただきました。

年金友の会 ゲートボール大会支部予選

藪神支部

８月29日開催　優勝　池平チーム

支店別ゴルフ大会

小出・伊米ヶ崎地区

９月６日開催

えのき工場見学の様子

川口えのきたけ産地学習会

9月3日（火）、川口きのこ組合は、取引している11市場を招き、えのきたけ産地学習会を行いました。えのきたけがどのように栽培されているのかを市場の担当者に見てもらい、需要期に向けて少しでも有利販売に繋げてもらう目的です。その後の意見交換会では、市場担当者から、今回の産地学習会は大変勉強になり、生産者の苦労も理解できた、川口えのきたけを頑張って販売したいと力強いお言葉をいただきました。

魚沼米懇談会

9月5日、新潟県魚沼米対策協議会は、魚沼市で出来秋を控えた産地５ＪＡの作柄を検討する「魚沼米懇談会」を開催し、ＪＡ関係者68人、全国卸業者31社が参加しました。懇談会前には、当ＪＡの雪室倉庫とコシヒカリの田んぼを見学し、2019年産米の流通や販売についての情報交換を行いました。卸業者からは、「魚沼米のファンは多く、もっとたくさんの量がほしい」などの要望をいただきました。

魚沼米懇談会の様子

魚沼市堀之内一周駅伝大会

9月15日、堀之内十五夜祭り恒例の「魚沼市堀之内一周駅伝大会」にＪＡ北魚沼駅伝部から４チーム出場しました。沿道のみなさんの応援のおかげで、全員が走りきることができました。たくさんのご声援ありがとうございました！

成績(全65チーム)

- ＪＡ北魚沼Ａ　一般の部　5位入賞
- ＪＡ北魚沼Ｂ　一般の部　38位
- ＪＡ北魚沼Ｃ　一般の部　55位
- ＪＡ北魚沼レディース　一般女子の部　3位入賞

駅伝

稲刈り体験交流会開催

9月21日（土）～22日（日）、1泊2日でＪＡ北魚沼消費者及び魚沼特使稲刈り体験交流会が行われ、35名のご参加をいただきました。

1日目は長松いなほ会のほ場にて、手刈りの稲刈り、はざかけ体験を行いました。

2日目はＪＡ北魚沼産の加工用米を使用している㈱魚沼醸造の工場を見学し、工場直送の甘酒や甘酒ソフトクリームを堪能してきました。

稲刈りツアー

米づくり農家への緊急支援を行います

商　品　名	令和元年産米特別対策資金
資　金　使　途	令和元年産米の収穫量の減少や出荷米の品質低下等に伴う、農業経営の維持および生活安定に資する資金
ご利用いただける方	当ＪＡ組合員
ご　融　資　金　額	100万円以内 ＊令和元年産米の収穫量減少によるＪＡおよび他業者出荷契約数量に対する出荷数量の減少分と、ＪＡおよび他業者出荷米の品質低下等による差額分（令和元年10月１日現在のＪＡ仮渡金を基準とします。）を限度といたします。（他業者の場合は他業者の減収証明書が必要です。）
ご　融　資　金　利	固定金利　年0.5％
ご　返　済　期　間	３年以内（うち据置期間は１年以内）
取　扱　期　間	令和元年10月１日（火）～令和元年12月30日（月）
貸　出　形　式	証書貸付
ご　返　済　方　法	元金均等返済
担　保・　保　証	原則、無担保、無保証。ただし、必要に応じ担保、保証を徴求いたします。
そ　の　他	申込みに際しては、当ＪＡ所定の審査をさせていただきます。なお審査の内容によっては、ご希望にそえない場合もございます。

特典付き定期積金「虹の会積立」の取り扱い終了のお知らせ

平成23年より㈱ライフサービス魚沼と提携してご利用いただいておりました特典付き定期積金「虹の会積立」の取り扱いを、行政検査（景品表示法）の指摘により令和元年９月末日をもちまして終了させていただくこととなりました。

現在「虹の会積立」をご利用のお客さまにつきましては、満期日または解約日まで現行の特典を継続して受けることができますが、満期日または解約日をもちまして自動的に「虹の会」を脱退することになり、以後特典を受けることができなくなりますのでご理解をお願いいたします。

尚、ホール葬での祭壇、会場使用についての組合員（正・准）割引は引続き継続いたします。詳細については㈱ライフサービス魚沼までお問合せ下さい。

年金相談会開催のお知らせ

年金についての疑問・質問に、専門の社会保険労務士が無料でご相談をお受けいたします。

☆令和元年11月12日（火）　9:00～15:00　　会場　ＪＡ北魚沼　広瀬支店
☆令和元年12月10日（火）　9:00～15:00　　会場　ＪＡ北魚沼　本店
☆令和元年12月17日（火）　9:00～15:00　　会場　ＪＡ北魚沼　堀之内支店

詳しくは最寄りの各支店窓口へ　お問い合わせください。

稲作情報

刈取後から次年度の土作りが始まります
～良食味米・高品質米生産のために～

良食味・高品質米を安定的に生産するためには、稲が必要とする養分や水分を必要な時期にバランスよく供給でき、かつ異常気象等の外的要因が与える負の影響を和らげる緩衝力の高い土壌が不可欠です。令和２年産米の良食味・高品質米の生産に向けて、まずは土づくりをしましょう。

稲わらの秋すき込みをしましょう

・秋すき込みをした圃場は、保水力や窒素供給力が増し、干ばつや高温登熟条件等の異常気象下での稲の成長や登熟を助けます。
・わきの発生を抑制し、根腐れや初期生育の不良を防止します。
・すき込みの時期は稲わらの腐熟の促進や温室効果ガスであるメタンの発生の抑制を図るため、遅くとも10月中旬までには完了してください。
・耕深は作業能率や腐熟促進等を考慮して5～10㎝の浅打とします。

ケイ酸・鉄の不足に注意しましょう

近年の土壌分析の結果では、ケイ酸と鉄分が不足傾向にあるようです。特にケイ酸は、茎や葉が丈夫になり倒伏に強くなるほか、登熟が向上し、収量・品質・食味が良くなります。異常気象に対応できる強い稲を育てましょう。

鉄は、水田の有害な硫化水素を無害な硫化鉄に変えて健全な根の発達を促します。
どちらも自然に減少していきますので秋打ちの際に土づくり資材の施用をおススメします。

第９回 うおぬま百菜花ん
「美しい魚沼」写真コンテスト作品大募集！

魚沼の大切な自然から伝統行事まで、
みなさんの力作をお待ちしております。

◆募集作品のテーマ
“だれかに見せたい自慢の魚沼”
ＪＡ北魚沼管内（魚沼市及び川口地区）の人・農・自然・食 etc、魅力ある魚沼の写真を大募集します。
◆応募締切　令和元年11月29 日(金)（当日消印有効）
◆撮影期間　平成30年12月～令和元年11月までの間に撮影された作品のみを対象とします。
◆応募方法　最寄りの各支店、営農センター、資材店またはうおぬま百菜花んまでお申し込みください。
◆そ の 他　申込用紙は、営農センター、資材店またはうおぬま百菜花んにございます。なお、ＪＡ北魚沼ホームページ（URL:https://www.ja-kitauonuma.or.jp）からも、申込用紙やコンテスト募集要項がダウンロードできます。

▲　昨年の最優秀賞作品
高村秀雄さん『実りの秋』

お問い合わせ：ＪＡ北魚沼 農産物直売所うおぬま百菜花ん　TEL ０２５－７９２－７０６６

JA北魚沼 大農業祭

開催日時

10月19日(土) 午前9時～

会　　場

奥只見レクリエーション都市公園
「響きの森公園」雪のコロシアム

総合司会
五十嵐利恵（いがらしりえ）

ありがとう
JA北魚沼
20th
Anniversary

騎士竜戦隊 リュウソウジャー

10月19日(土)

時間（予定）
1回目 10:00～
2回目 13:30～

会場
「響きの森公園」
雪のコロシアム内
特設ステージ

©2019 テレビ朝日・東映AG・東映

大道芸
パフォーマー
りんご

お楽しみ抽選会

今年の「お楽しみ抽選会」は、例年の抽選会賞品に加え“20周年記念特別賞”として、豪華賞品をご用意致しました。『お楽しみ抽選券』を、当日ステージの抽選箱へご投函ください。

20周年記念特別賞

- **55型４K対応液晶テレビ**
- **愛菜庫（30kg）**
- **石油ファンヒーター**
- **燃料券　１万円分**

★各給油所では★
店頭ガソリン・軽油
大 特 売!!
価格は当日店頭で発表します!!

駐車場が大変混雑しますので本店駐車場からのシャトルバスをご利用ください。今年度は各地区からの送迎バスは運行いたしません。

同日開催 ～地域の安全・安心を支えています～ **土木フェア**　**特殊車両試乗コーナー**

第32回理事会　令和元年９月27日開催

主な協議・報告事項

- ８月末事業実績について
- 上半期ミニディスクロージャー誌の設定について
- 令和元年産米検査・買入実績報告について
- 令和元年産米特別対策資金融資要項の制定について

私たちのＪＡ　令和元年８月末現在

＜組合員数＞　正　5,860人
　　准　5,620人

貯金残高	876億9914万円
貸出金残高	197億3761万円
共済保有高	3205億 924万円
購買品供給高	28億6278万円
販売品販売高	21億5378万円
出資金	27億1244万円

農家応援キャンペーン

秋の農機・自動車展示会開催のお知らせ

各農機・車両センターでは、秋の展示会を下記の日程で行います。なお、10月19日(土)、大農業祭会場でも車両展示を行っております。大勢の方からのお越しをお待ちしております。

	小出･広瀬車両センター	中央農機センター	北部農機センター
開催日（１日目）	11月16日(土)	10月25日(金)	
時　間	9時から17時まで	9時から17時まで	
開催日（２日目）	11月17日(日)	10月26日(土)	
時　間	9時から16時まで	9時から16時まで	

冬用タイヤ付替えキャンペーン

11月16日(土)･17日(日)の２日間

実施場所：小出車両センター　TEL 025−792−0830
広瀬車両センター　TEL 025−799− 2162
営業時間：16日(土) 午前９時～午後５時　17日(日) 午前９時～午後４時
料　　金：軽自動車／乗用車・・・・1,300円(税込)
ＲＶ／ワゴン車・・・・・1,800円(税込)

４本付替え 特別料金

※軽自動車、普通乗用車に限定させていただきます。

同時開催

車検･定期点検予約会

☆**車検１か月前予約で工賃550円割引(税込)**
☆**車検２か月以上前予約で工賃1,100円割引(税込)**
☆**他､持込割引など､うれしいメニュー有り**

６か月先までＯＫ！
車検証をご持参ください

耕うん機 トラクター用 ロータリー・代かきハロー耕うん爪

10%値引キャンペーン
(ＪＡ通常価格より)

1　予約注文による耕うん爪の値引キャンペーンを行います。
2　本機とロータリー・ハローの型式をお知らせください。
3　入荷後各農機センターまでお引き取りをお願いいたします。
4　申込締切日　**令和元年11月30日**

お問い合わせは最寄りの各農機センターまで

ＪＡ北魚沼『米食味コンテスト2019』開催!!!

「北魚沼産コシヒカリ」のブランド力向上と「安全・安心」な良食味米を消費地に提供するため、今年も、米食味コンテストを開催します。皆様からの応募をお待ちしています。

◆参加資格　１．参加資格　JA 北魚沼管内の米生産者で JA 北魚沼への出荷者
２．対象の米　令和元年産　北魚沼産コシヒカリ BL（出荷米に準ずる米）
◆応募方法　１．提 出 物　①応募用紙（指定の用紙を各営農センター・資材店に用意してあります。）
②出品米の栽培履歴（事務局指定様式）
③玄米２kg
２．提 出 先　最寄りの営農センター・資材店まで
◆審査方法　書類審査・品質食味分析機による審査・食味官能審査
◆募集期間　令和元年10月10日(木)～11月15日(金)
◆結果の発表等　令和２年１月発行の「あぐり～ん」にて発表いたします。
最終審査進出者に豪華賞品を贈呈します。
さらに、最優秀金賞は、１年間（該当年度米に限り）農産物直売所「うおぬま百菜花ん」での販売権利が与えられます。

地域の食材を おいしく食べよう

今月の元気ごはん

さつまいものグラタン

材料（４人分）

- さつまいも……400g
- 玉ねぎ……1/4 個（50g）
- A
  - ベーコン……50g
  - しめじ……1/2 パック
  - まいたけ……1/2 パック（約50g）
- バター……15g
- 米粉……大さじ２
- B
  - 牛乳……350mℓ
  - コンソメ顆粒……小さじ１
  - 塩・粗びき黒コショウ…少々
- ピザ用チーズ……50g

作り方

① さつまいもは皮つきのまま、２㎝角に切り、水にさらし、耐熱容器に入れ、ふんわりラップをかける。600Wで５～６分レンジで加熱し、やわらかくする。

②玉ねぎは薄切りに、ベーコンは２㎝幅に切る。しめじは石づきを取りほぐし、まいたけは食べやすい大きさにちぎる。

③フライパンを中火で熱し、バターを溶かし、玉ねぎがしんなりするまで炒める。Ａを加えて全体を炒め合わせたら、米粉を入れ、粉っぽさがなくなるまで全体に絡めながら炒める。最後にＢを入れて混ぜながら煮立てる。

④耐熱容器に①を並べ、③をまわしかけ、チーズをのせる。オーブントースターでチーズが溶けるまで焼く。

お米で健康

おいしく炊こう！ 土鍋で新米ご飯

土鍋で炊くご飯はとてもおいしいといわれます。熱伝導のそれほど高くない土鍋は、じっくりと熱が伝わることでお米の持つ本来の甘味や粘りなどのおいしさを引き出しやすいとされているのです。さらに、土鍋は蓄熱効果が高いため保温力があり、一度沸騰すると土鍋内では熱湯の対流状態を維持できるため、お米を満遍なく加熱できること、火を消した後も熱を保って蒸らすことができるので、つやつやふっくらとしたご飯に仕上げられます。

土鍋でご飯を炊くのは意外と簡単。何度も炊いて、水加減・火加減・加熱時間を調節し、お好みの炊き上がりをマスターしましょう。

（1）お米を手早く洗い、ざるにあげて水気を切ります。分量の水（お米の容量の1・2倍量またはお米の重量の1・5倍量）で浸水させます（夏場は30分、冬場は1時間程度）。浸水は土鍋ではなくボウルなどで。土鍋は水を吸いやすいため、鍋底が割れやすくなったり、うまく炊き上がらなくなることも。

（2）土鍋に（1）のお米と水を入れてふたをし、鍋底から火がはみ出ない程度の強火～中火にかけ、沸騰させます（8～10分程度が目安）。

沸騰するとブクブクという音がして、ふたの周りから勢い良く蒸気が立ち上ります。おいしく炊くためにきちんと沸騰させましょう。

（3）沸騰したら弱火にして、ふきこぼれない状態に保ち、さらに15～20分程度加熱します。

（4）パチパチという音や蒸気が出ないなどの状態で水気が残っていないことを確認したら、火を止めて10分程蒸らします。

（5）ふたを取って全体をさっくりと混ぜます。

お米は、炊き上がりの容量が土鍋の容量の6～7割以下になるくらいの分量が目安です（直径約27㎝の9号の土鍋で2～3合程度）。

土鍋の炊飯時間はお米の量が多いほど長くなり、気温や水温、土鍋の形状などによっても前後します。

あぐりん広場

特　集

おもしろ野菜　大集合!!

夏から続々と、おもしろ野菜が集まりました！中には顔まで描いてくれた方も…(笑)

大平　宇一さん

樋口　一男さん

桜井　勇武さん

中丸　富雄さん

大久保　栄作さん

下倉新田　富永ヒナさん

下倉新田　富永　ヒナさん

桜井　勇武さん

おたよりコーナー

✉**先日八木さんの講演会があり、いろんなお話を聞きました。あぐり～んの記事も読ませていただきありがとうございました。（四日町　Hさん）**

✉**私は農家ではありませんが、稲作や家畜の様子、家族の様子など色々見せてもらっています。（中家　Kさん）**

✉**毎号楽しみにしています。今月もたくさんの情報ありがとうございました。農天市場の話、興味をもって読みました。（須原　Yさん）**

編 ご覧いただき、ありがとうございます。農家の方のお話は広報担当としても、とても勉強になります。

✉**同じ学校の友達が写っていたなんてびっくりしました！わたしも写ってみたいです！友達も一緒に写りたいです！（一日市　Kさん）**

編 お友達といっしょに元気いっぱいの笑顔の写真を撮らせてください(*^^*)

JA北魚沼農産物直売所

うおぬま百菜花(ひゃくさいか)

逸品広場

さといも

中丸さんの畑の里芋は、葉っぱの高さが２ｍにまで及びます。

里芋は、夏でも葉っぱに水滴を残すくらいの水管理が大事だそうです。

人気の高い土垂(どだれ)を９月中旬から11月中旬まで出荷しています。ぜひご賞味ください。

生産者
中丸　富雄さん

うおぬま百菜花(ひゃくさいか) infomation

- 11月2日(土)　周年祭
- 11月17日(日)　秋野菜まつり

JA北魚沼　あぐりーん　2019 10月号　VOL.248
■発行／令和元年10月10日発行　■編集／北魚沼農業協同組合　総務企画課
〒946-0024 新潟県魚沼市中原 258-3　TEL 025-793-1700
■E-mail:jakitauo@ja-kitauonuma.or.jp　■https://www.ja-kitauonuma.or.jp/